



西粟倉小学校だより

No. 1 1 令和8年 3月 4日 (水)

今年のラストをどう飾るのか

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが閉幕しました。数々の感動を世界中に与えてくれたすべての出場選手や関係者の皆さんに改めて感謝を伝えたいと思います。

さて、その中でも、坂本花織選手の言葉が印象的でした。「でも前大会は本当に奇跡のような銅メダルを取って、そこから今、前回よりもいい色のメダルを首にかけてるのに悔しいって思えるのは、この4年間本当に頑張ってきたからこそ出てくる感情かなと思うので、この4年の頑張りは自分自身認めあげたいなと思います」

この言葉だけ見ると、様々な捉え方ができ、いろいろな感想を持たれる方がいらっしゃると思います。ただ、本当に頑張ったからこそその感情であったことは紛れもない事実であると思います。それから、自身の引退を表明してからの最後の大会ということで、格別な感情もあったのだと想像されま

す。

子どもたちにとっても、今年度の最後が見えてきました。6年生にとっては、小学校生活の最後です。どんな最後を迎えたいのか。そこを意識して残りの学校生活を過ごしてほしいと思います。そして、一番最後に宿る思いが、自身の本当の頑張りがらくるものであってほしいと願っています。この思いを抱くことが、自分で自分を認めたり、受け入れたりすることにつながるからです。

どの子ども、残りの時間を有意義に過ごしてほしいです。



ふわふわ言葉 祝10枚達成！！

今年度も4月から取り組んだ「ふわふわ言葉」相手にとって心温まる言葉を学校中に広げようということで、今年は模造紙10枚を目指しました。順調に枚数が増えていたのですが、3学期に入り、みんなで取り組む大きな行事もあったことで、一気にカードが増えました。そして、ついに10枚を達成！現在は12枚目に到達です。

子どもたちも廊下を通るたび見えています。カードを貼っていると一緒に手伝ってくれる子もいます。こういった姿が見られることもうれしいことです。

児童玄関に掲示しておりますので、学校にお越しの際には、是非、ご覧ください。

さあ、どこまで増えるか。楽しみです！



1年間の学びにおける成果を発表しました



昨年度の保護者アンケートでは、「あわくらみらい学」の様子が分からないとのご指摘を賜りました。せっかくの子どもたちの学びが伝わらないのはもったいない。そこで、今年は、最後の参観日に、すべての学年で「あわくらみらい学」の発表をしました。初めての試みでしたが、いかがだったでしょうか？子どもたちが課題設定をし、自らが自主的に関わりながら学びを進めてきたこの1年間を凝縮した発表となりました。

今年の学びを整理し、この1年間で身につけた力を振り返り、来年に学びを繋げていきたいと考えています。参観された感想などがありましたら、是非、学校までお知らせください。

当日のご参観、ありがとうございました。